

式辞（２学期終業式）

１年で一番長い２学期も今日で一旦終了します。皆さんにとってどんな２学期だったでしょうか。２学期も皆さんは文武両面で頑張り、今ほど行なった表彰伝達式も１１月１８日の１回で表彰しきれず、今回に回ったものもあります。皆さんの成果の証をこんなに多く手渡すことができるのは、校長として大変誇らしく思います。

さて、この２学期も多くの御支援を全国から頂きました。飯高祭の鈴木千尋さんに始まり、ウィーンフィルコンサートや、奨学金など、ここでは言い切れないほどありました。私も御支援頂く度に心を込めて自筆のお礼状をしたためています。発災以降、書いたお礼状は６０通になり、改めて本当に多くの御支援を頂いたと感謝しています。皆さんも感謝の気持ちを今一度持って頂きたいと思います。そして、この度はワールドビジョンジャパン様という支援団体から図書カード一人あたり１万５千円ずつ頂きました。一人あたり１万５千円ですから全校生徒分となるといかに高額になるか、想像できるでしょう。高額ですので、保護者懇談で保護者に手渡ししますが、送ってくれた方の気持ちを考え、有効に利用してください。進学希望者は進学後の教科書代にすると良いでしょう。大学の教科書は思う以上に高いです。

昨年度末の３学期終業式で「もらい慣れしてしまっ、してもらうことが当たり前になってしまっている」のではないかと、問題提起しましたが、２、３年生は覚えていますか。頂いている御支援は皆さんが自立・自走できるようになるまでの繋ぎで頂いているものであって、いつまでも支援が継続するわけではないということです。被災したことをいつまでも言い訳しながら、そして考慮してもらいながら生きていくこともできません。少し厳しい表現になりましたが、皆さんが自立に向けて頑張ってくれることを期待しています。

昔からの諺に「働かざる者、食うべからず」と言うものがあります。まずは、皆さんがしっかり学業を修め、就職し、元気に働くことが、社会貢献であり、それが今受けている恩返しになります。そして、できれば次の災害ではボランティアで支援する側として活躍して頂きたいと思います。因みに、最近私が創作した諺は「頑張らざる者、文句を言うべからず」です。かなり当てはまっていると思いますが、そんな意識で周囲観察してみてください。

最後に、一般試験を受ける３年生諸君、自分たちは受験の本道を進んでいるんだ、というプライドを持って頑張って下さい。最後まで諦めず、本懐を遂げてください。いつも話している、体調管理・精神管理・時間管理の３管理をしっかり行ない、「あやふやな知識はないに等しい」を自分に言い聞かせ、就職試験や推薦入試で合格した人達に続いてください。オール飯高で後押しします。

１、２年生は３年生以上の姿勢で学習に取り組み、３年生にウカウカしとられんぞと、思わせてください。そして、インフルエンザやコロナを学校へ持ち込まないように健康に気を遣ってください。これはオール飯高として３年生のためでもあります、自分のためでもあります。１年生は２６日から学習合宿すると聞いています。２年生は春休みに合宿した気持ちを思いだして、それぞれ頑張るって欲しいと願っています。頑張りとは将来の自分への投資です。

以上、２０２５年こそ皆さんにとって良き１年になることを願い、終業式の式辞といたします。

令和６年１２月２３日

石川県立飯田高等学校長 角 秀明